

記述例4 [港湾計画の方針の複数の変更を伴う場合]

変更理由

- 1 港湾の再開発を進め、国際交流拠点の形成を図るため、土地造成及び土地利用計画を変更する。
- 2 外貿コンテナ取扱機能を強化するため、公共埠頭計画を変更する。
- 3 大規模地震災害時においても、経済活動を支えるために必要な国際海上コンテナ物流機能を維持するため、大規模地震対策施設の計画を追加する。
- 4 気候変動による平均海面水位の上昇や台風の強度増加に適切に対応していくため、〇〇地区において、特定港湾施設の高さ及び機能の最適化に関する事項を追加する。

港湾計画の方針

- 1 機能的に老朽化・陳腐化した港湾施設の更新を図るとともに、国際交流拠点の形成を促進し、周辺市街地と連携した魅力的な港湾空間の形成を図るため、港湾の再開発を進める。(変更)
機能的に老朽化・陳腐化した港湾施設の更新を図るとともに、周辺市街地と連携した魅力的な港湾空間の形成を図るため、港湾の再開発を進める。(既定計画)
- 2 〇〇地域の流通拠点港として、背後企業等の輸送コストの低減に資するため、外貿コンテナ取扱機能の強化及び充実を図る。(追加)
- 3 大規模地震災害時においても経済活動を支えるため、必要な国際海上コンテナ物流機能を維持する。(追加)
- 4 〇〇港の港湾計画を実現していくにあたっては、気候変動による平均海面水位の上昇や台風の強度増加に伴う潮位偏差・波高の増大に適切に対応していくことが重要である。そのため、当港の物流機能の確保の観点から、関係者の連携と協働によって推進する協働防護の取組も踏まえ、施設の機能強化に取り組む。(追加)